

平成 27 年度農林水産大臣賞受賞概要
林産部門

- 氏名又は名称 後藤 齊（ごとう ひとし）
- 住 所 愛知県北設楽郡設楽町
- 品 目 林業経営
- 受賞者の林業経営等

・受賞者の経営・技術の特色

（１）所有森林の条件に応じた特徴的な林業経営を展開

約 87ha の所有山林について、比較的奥地にまとまっている 36ha については、森林施業計画、森林経営計画による計画的な施業を行っており、高密度な路網整備と高性能林業機械による低コストな利用間伐を作業委託し、収益を確保している。

一方、その他の山林は分散してはいるが、里に近いところに位置しているため、林業関係高校の教員や、森林ボランティア団体等への間伐、搬出等の実地研修のフィールドとして提供し、自ら技術指導を行っている。

（２）木材の販売方法への工夫

A、B材のみならず、曲がり材、小径材、タンコロなどの未利用材、また広葉樹についても、自ら簡易ウインチや小型運材車により、地域の木材市場に搬出し、収益向上に努めている。

（３）山林の育成と管理

保育間伐は適期に計画的に行い、強めの間伐で林内を明るくすることにより下草の導入や、広葉樹との混交林化をめざしている。

・地域に対する貢献と波及効果

氏は長きにわたり、地域の林業高校で教員を勤めており、地域の森林組合や官公庁など地域における林業関係分野で活躍している数々の卒業生を輩出している。

また、その指導力から愛知県指導林家にも認定されており、林業労働力確保支援センターによる林業新規就業者研修の講師を務めている。

設楽町役場のロープ式ウインチと薪割機の無償貸し出し制度を利用し、地域の林家に搬出を促しており、地域の木材市場におけるチップ用材買い取り制度の創出にも一役買っている。これは、いわゆる「木の駅」として地域の林家の現金収入アップにつながるものである。

設楽町内の伐採跡地を借用し、公益財団法人オイスカと連携して「あいち森と緑づくり事業」を活用した水源林造成「オイスカ名倉の森」を整備している。ここでは、海外の方や、下流域の民間企業職員を招き、広葉樹の植林活動を実施している。氏は造林に際し、林業も見据えた樹種選定や、植栽技術、獣害対策まで技術指導を自ら行っている。

また、森林ボランティア団体「森ボラクック」の活動フィールドとして、自身の所有山林を提供し、間伐等森林整備体験を通じ、下流域の都市の人々との交流を活発に行い、地域の活性化に貢献している。